

2026年度第2四半期決算説明会

「YX2026」の総仕上げと「YX2029」について

2026年8月10日
横浜ゴム株式会社
代表取締役会長兼CEO
山石 昌孝

- 1. 2026年度 上期実績**
- 2. YX2026 2026年度上期の進捗**
- 3. YX2026 2026年度通期の取り組み**
- 4. YX2026 2026年度通期財務目標**
- 5. 次期中期経営計画 YX2029**

- 1. 2026年度 上期実績**
2. YX2026 2026年度上期の進捗
3. YX2026 2026年度通期の取り組み
4. YX2026 2026年度通期財務目標
5. 次期中期経営計画 YX2029

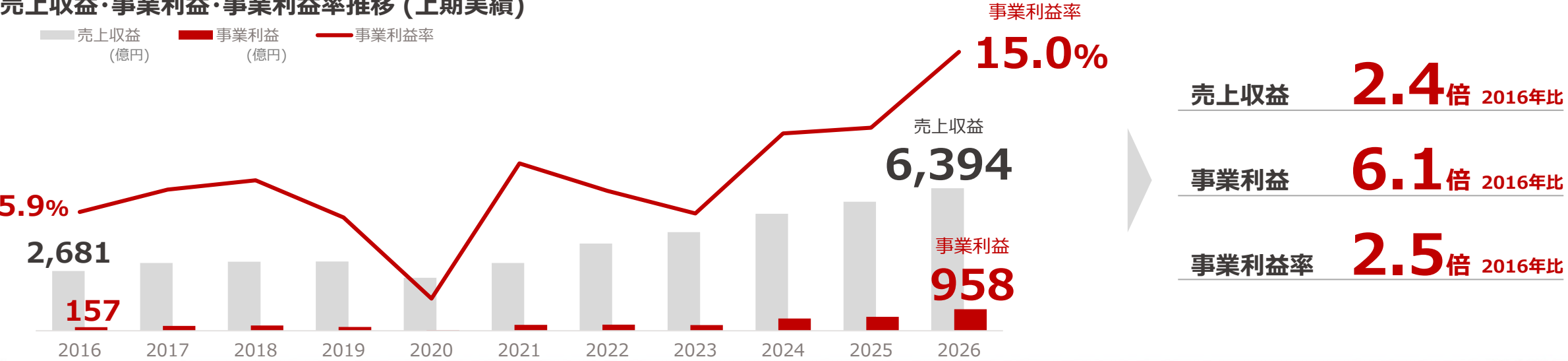
1. 2026年度 上期実績



上期実績

単位 (億円)	2026年上期実績	計画 (5月公表)	計画比増減	前年実績	前年比増減
売上収益	6,394	6,100	+294	5,792	+602
PPA償却前 事業利益	1,032	818	+214	721	+311
(利益率)	(16.1%)	(13.4%)	(+2.7pt)	(12.5%)	(+3.6pt)
事業利益	958	750	+208	621	+337
(利益率)	(15.0%)	(12.3%)	(+2.7pt)	(10.7%)	(+4.3pt)
当期利益	726	450	+276	355	+370

売上収益・事業利益・事業利益率推移 (上期実績)



1. 2026年度 上期実績
- 2. YX2026 2026年度上期の進捗**
3. YX2026 2026年度通期の取り組み
4. YX2026 2026年度通期財務目標
5. 次期中期経営計画 YX2029

1.大戦略

2.ベストオルタナティブ

3.商品・地域事業戦略



MISSION

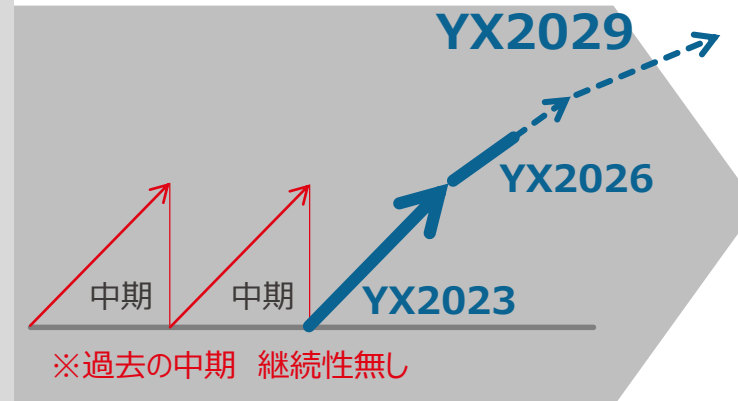
企業価値向上に向け、
全ての経営課題に取り組む

基本方針

創業守成

創業 = 探索 = 成長 = 増収

守成 = 深化 = 改善 = 増益

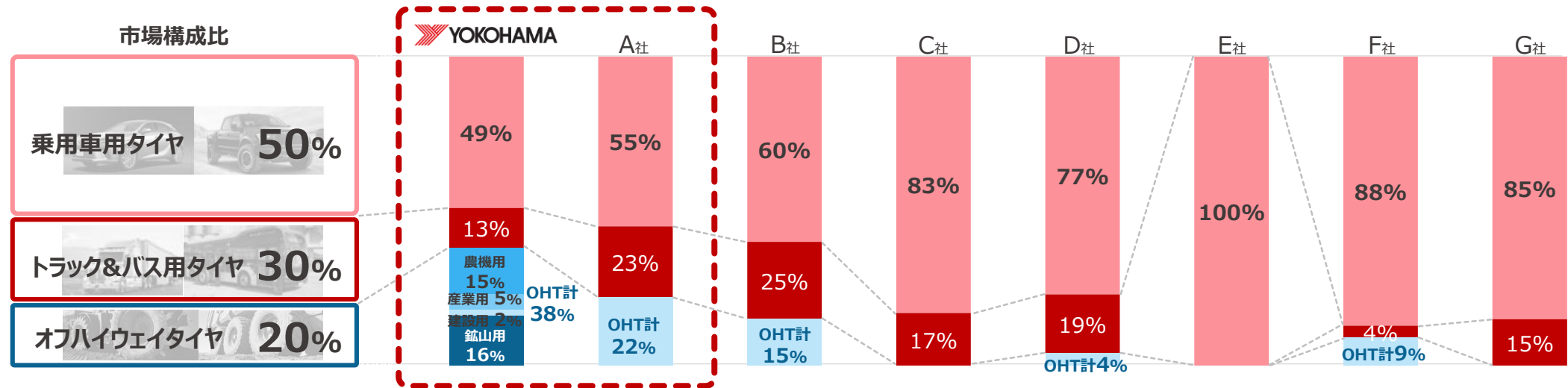


2-2) YX2026 タイヤ事業：大戦略（グランドデザイン）

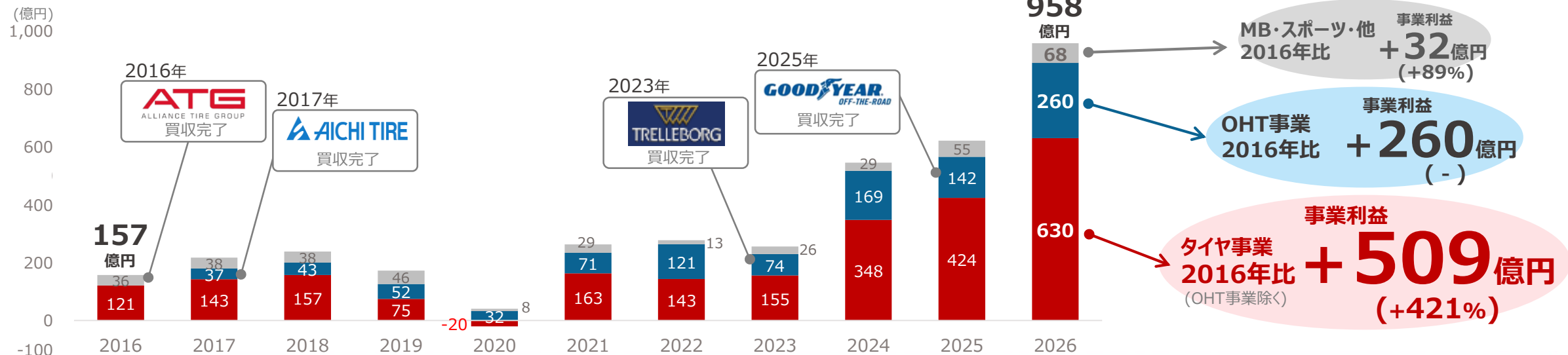


2-3) YX2026 タイヤ事業 : Best Alternative

Best Alternative : ※業界で唯一 Tier 1 Topメーカーに匹敵する商品ラインナップ°



上期 事業利益成長 (2016年~2026年)



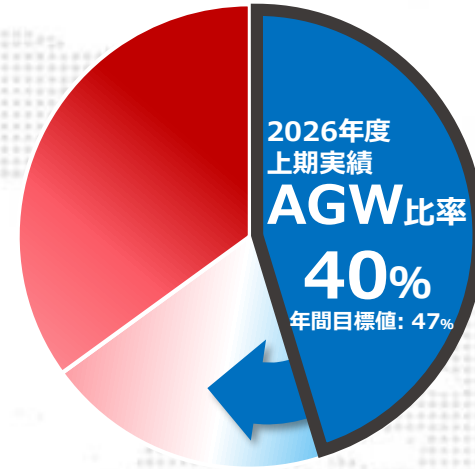
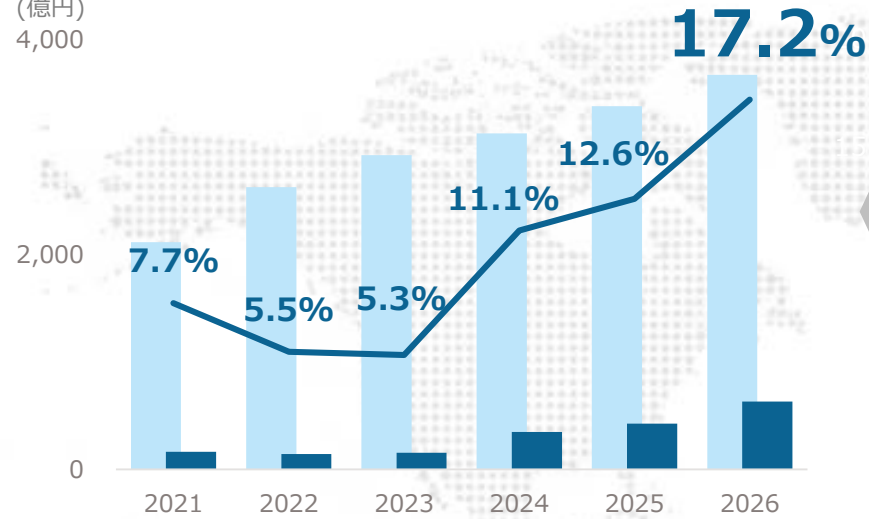
2-4) YX2026 タイヤ事業 Best Alternative : 2026年上期 AGW実績

タイヤ事業：上期 売上・事業利益・事業利益率

(OHT事業除く)

(億円)

4,000

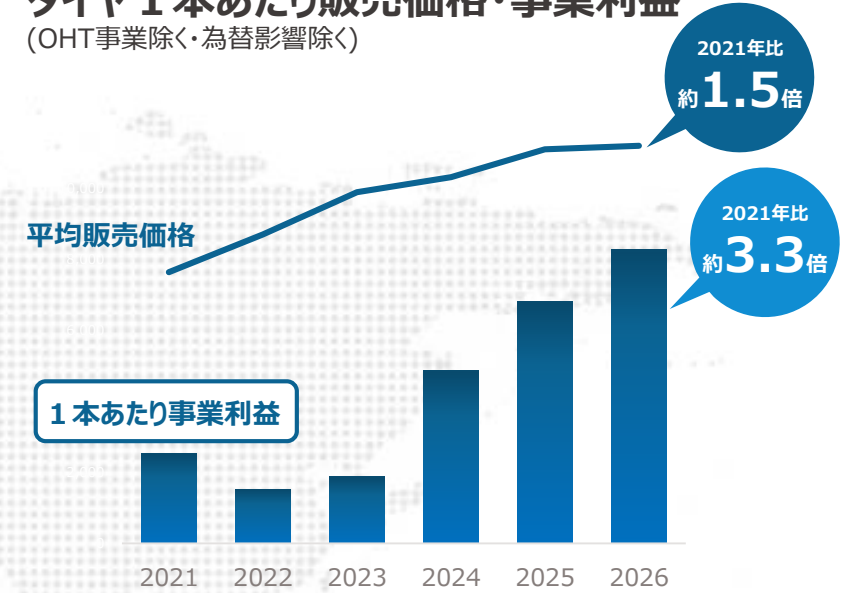


タイヤ1本あたり販売価格・事業利益

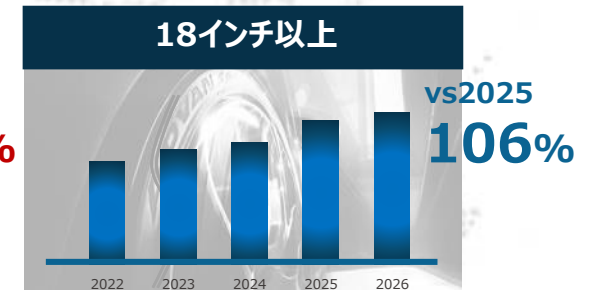
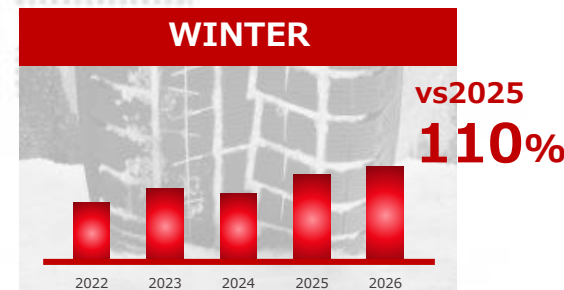
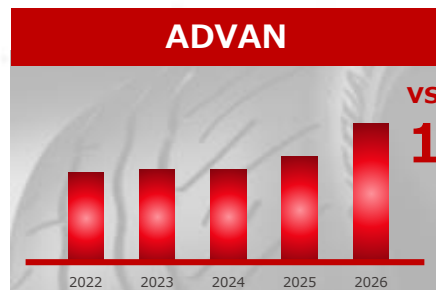
(OHT事業除く・為替影響除く)

平均販売価格

1本あたり事業利益



高付加価値商品販売実績 (OE・REP合計販売本数)



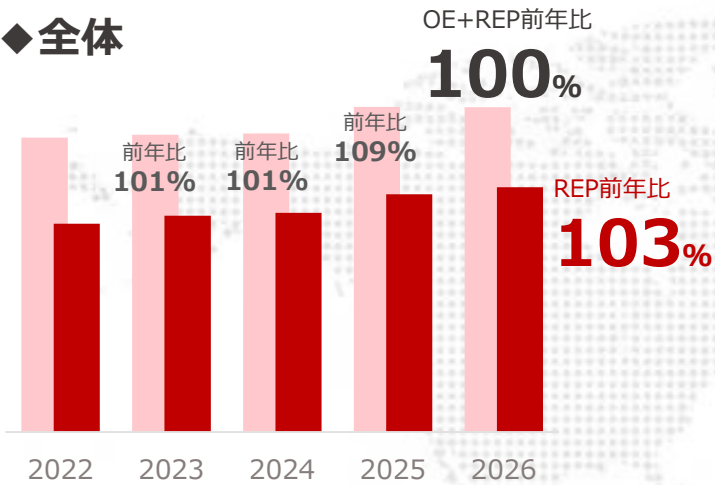
2-5) YX2026 タイヤ事業 Best Alternative : 2026年上期 地域別販売本数実績

タイヤ事業：上期地域別販売本数実績推移 (OHT事業除く)

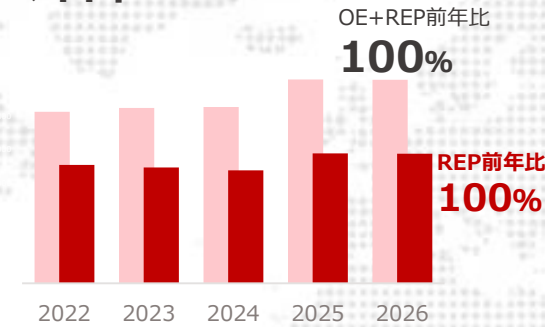
■：タイヤ事業（OHT事業除く）OE・REP合計販売本数

■：タイヤ事業（OHT事業除く）REP販売本数

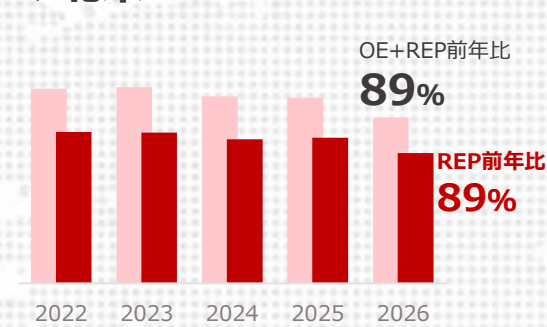
◆全体



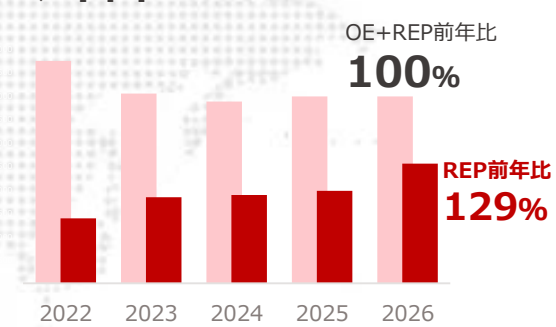
◆日本



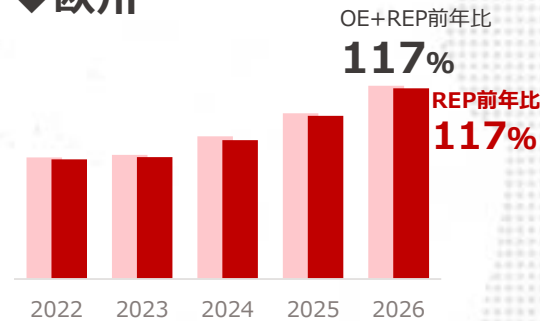
◆北米



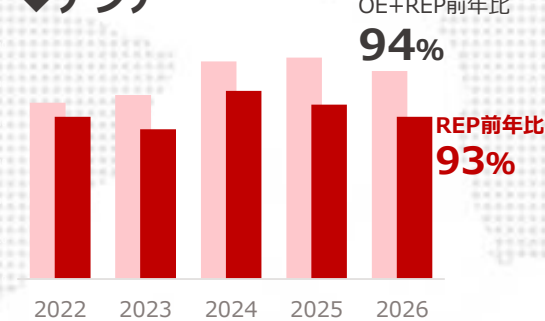
◆中国



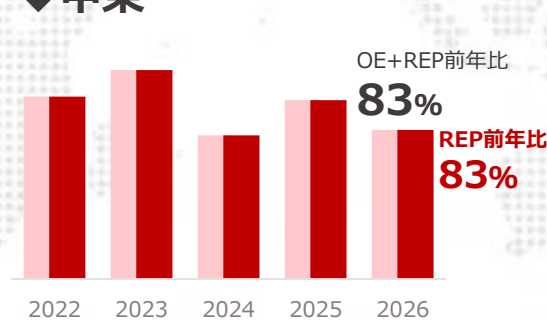
◆欧州



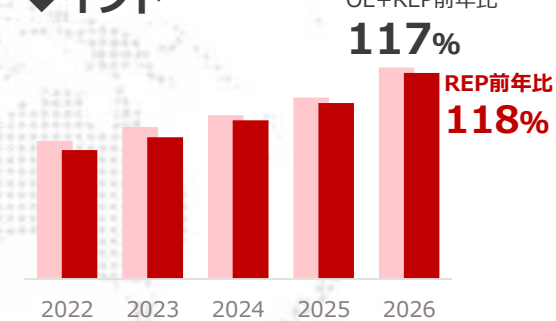
◆アジア



◆中東



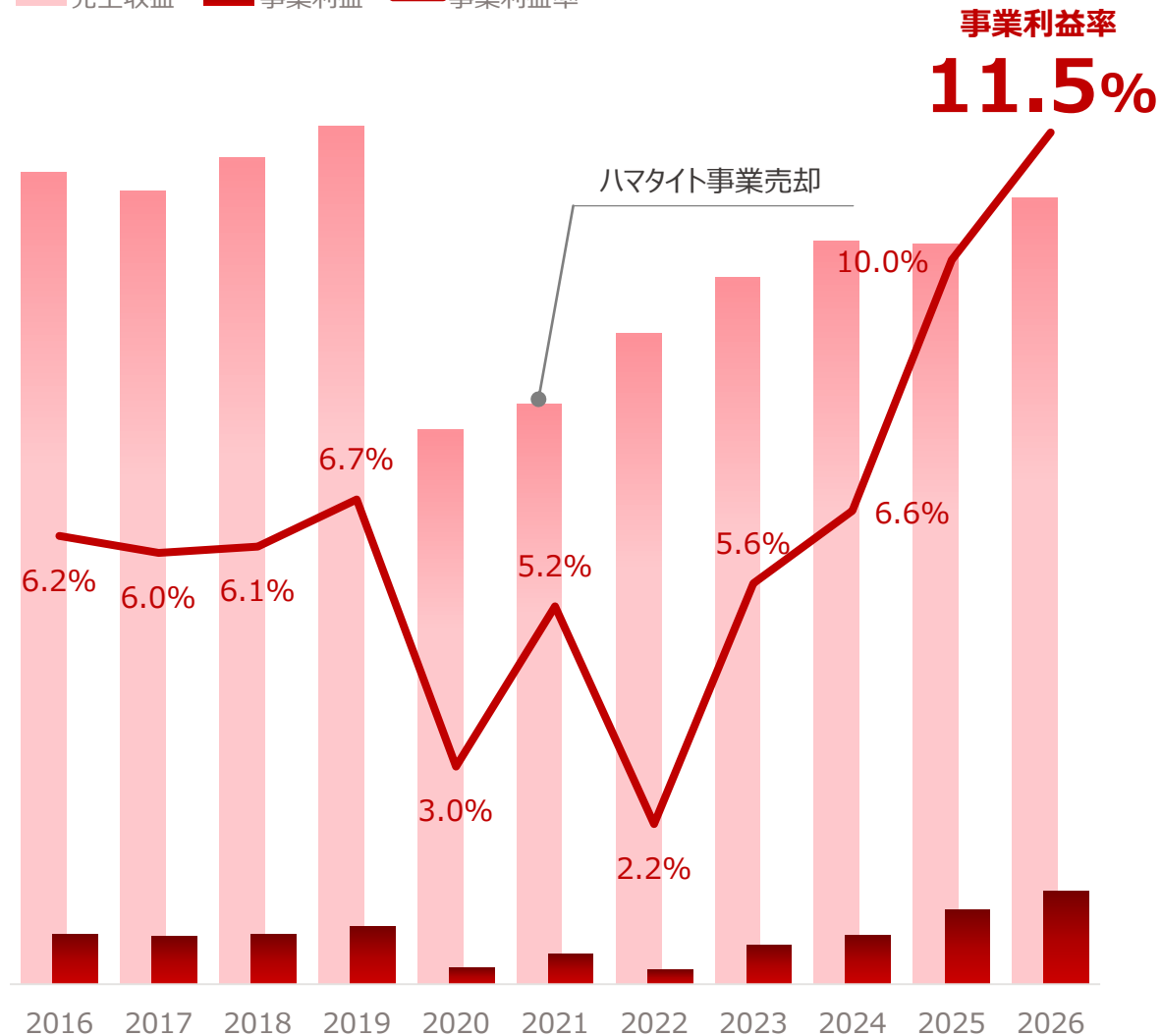
◆インド



2-7) YX2026 MB事業：2026年上期 実績

MB事業：売上収益・事業利益・利益率推移（上期実績）

売上収益 事業利益 事業利益率

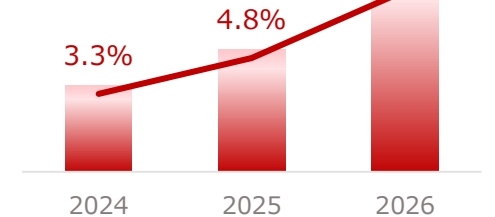


ホース配管 構造改革

営業利益 営業利益率

◆油圧・自動車

営業利益率
7.6%

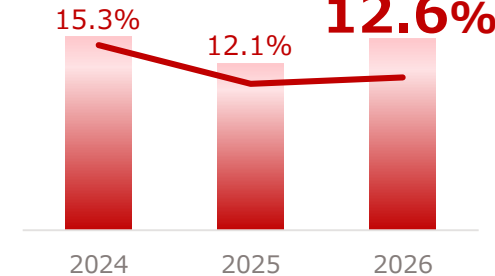


工業資材 成長ドライバー 高収益化

営業利益 営業利益率

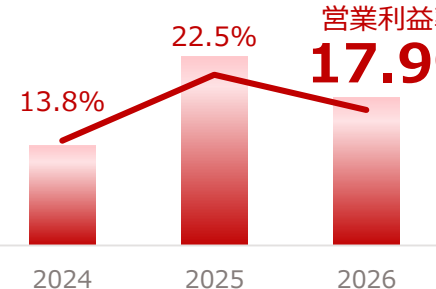
◆コンベヤベルト

営業利益率
12.6%



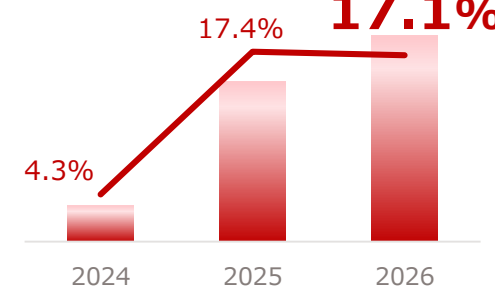
◆海洋(マリンホース・防舷材)

営業利益率
17.9%



◆航空部品(官需)

営業利益率
17.1%

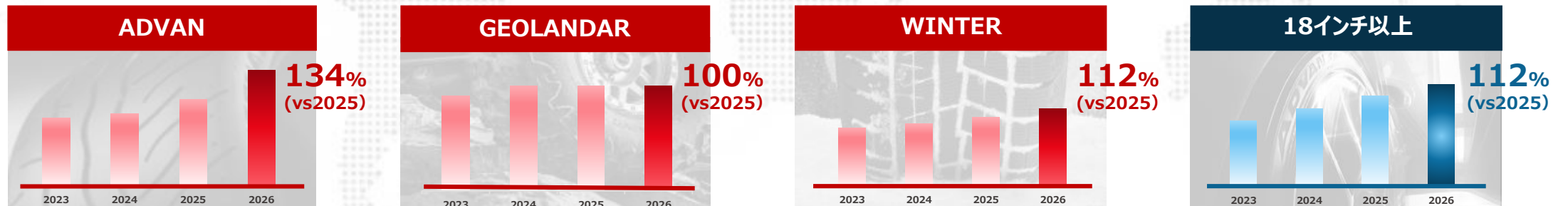


1. 2026年度 上期実績
2. YX2026 2026年度上期の進捗
- 3. YX2026 2026年度通期の取り組み**
4. YX2026 2026年度通期財務目標
5. 次期中期経営計画 YX2029

タイヤ事業 年間販売本数計画 (OHT事業除く)

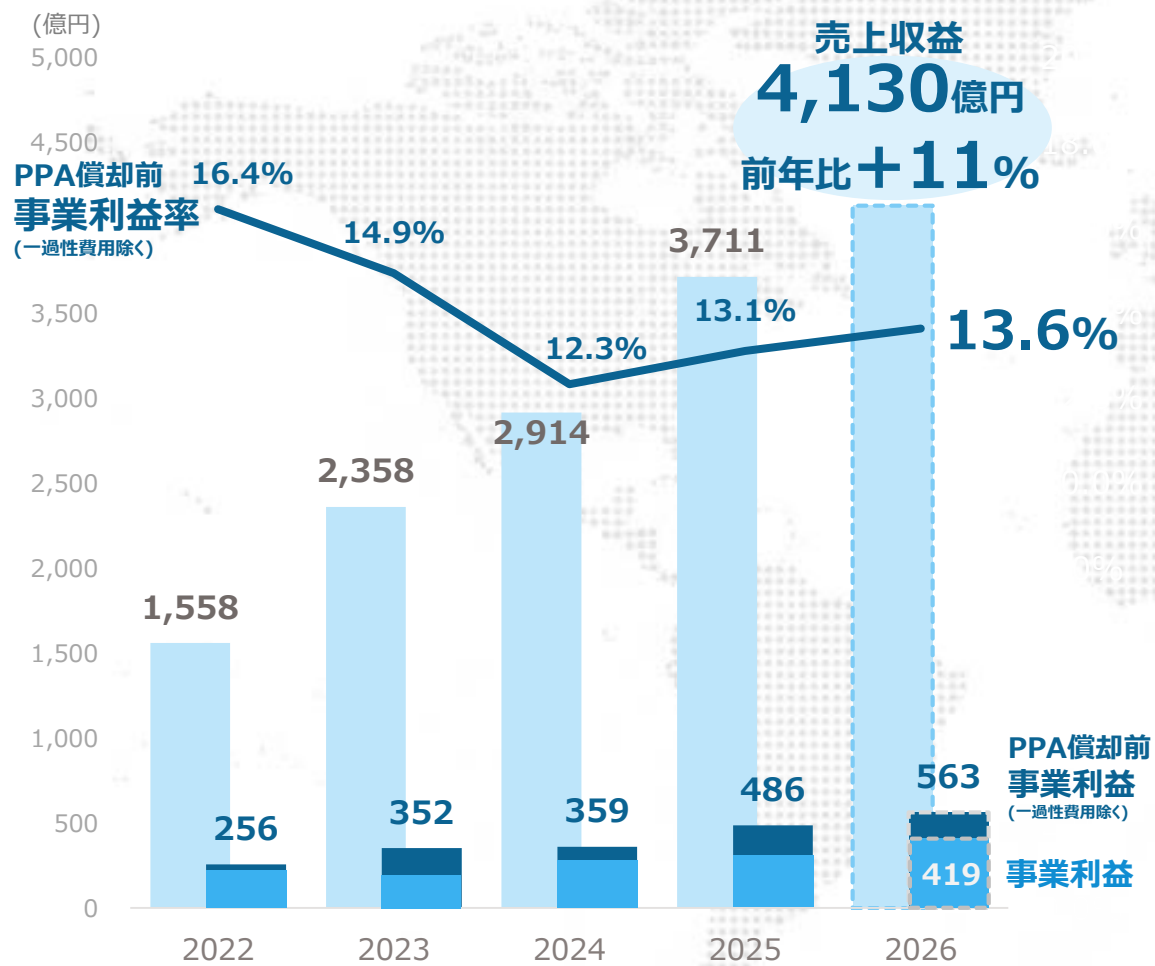


高付加価値商品販売計画 OE/REP合計年間計画



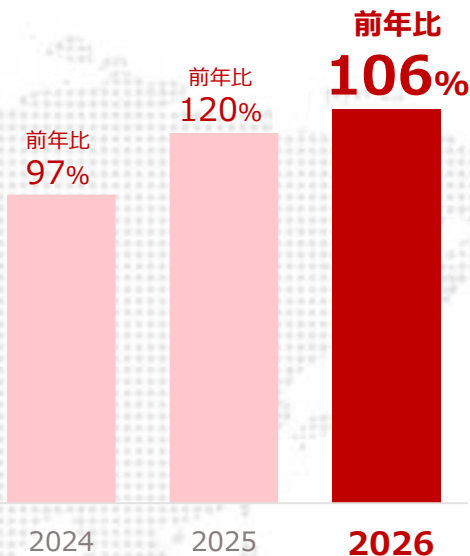
3-2) YX2026 2026年度 OHT事業：通期見通し

OHT事業 事業利益計画

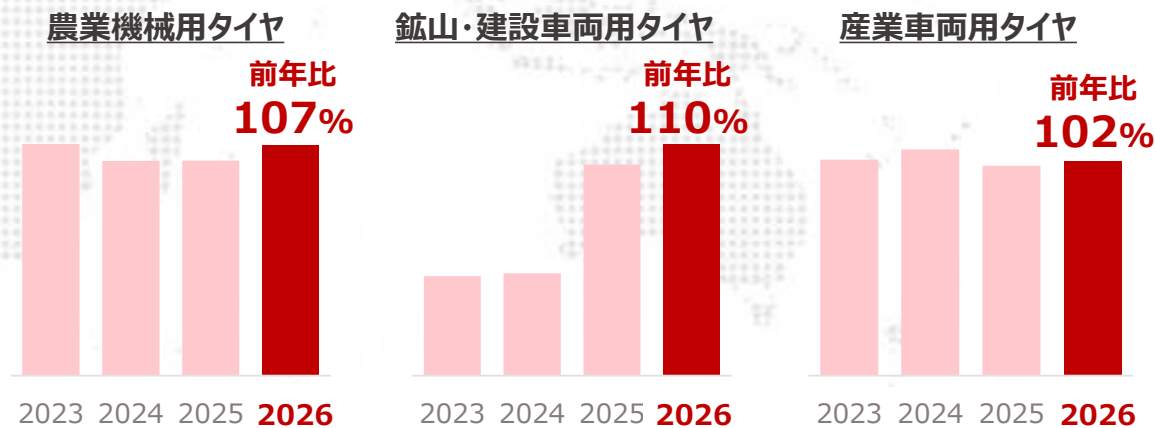


年間販売計画 (重量ベース)

◆OHT事業累計 (Y-ATG + Y-TWS + G-OTR)

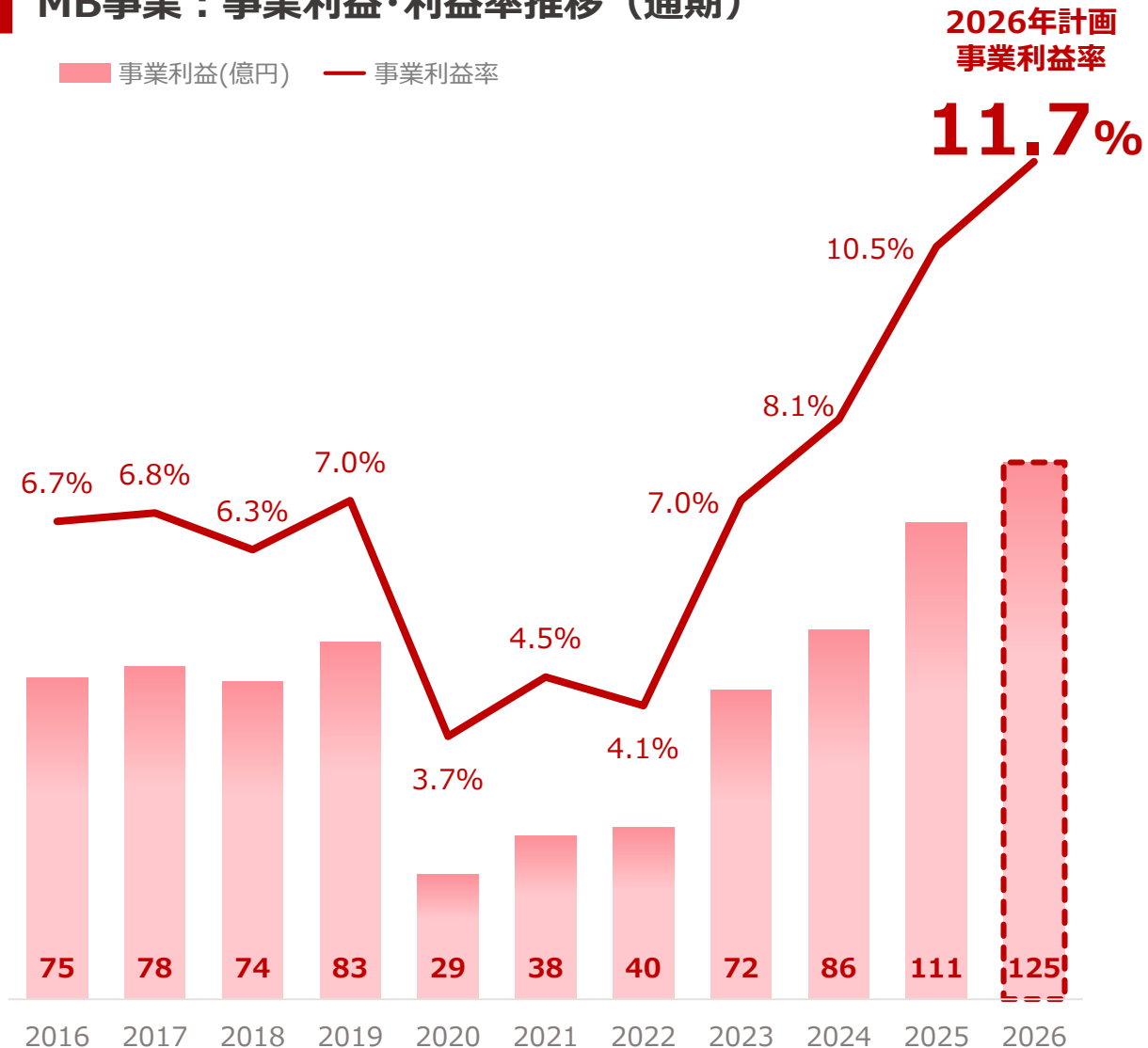


◆品種別 年間販売計画 (Y-ATG + Y-TWS + G-OTR / OE・REP合計)



3-3) YX2026 2026年度 MB事業：通期見通し

MB事業：事業利益・利益率推移（通期）



ホース配管 構造改革

◆油圧：価格適正化

◆自動車：北米集約効果刈り取り

工業資材 成長ドライバー 高収益化

◆コンベヤベルト：国内高シェア維持
海外拡販

◆マリンホース・防舷材：
国内高シェア維持
海外拡販

◆航空部品：航空部品(官需)
生産基盤の強化推進



出典：海上自衛隊、陸上自衛隊、航空自衛隊公式ホームページ

1. 2026年度 上期実績
2. YX2026 2026年度上期の進捗
3. YX2026 2026年度通期の取り組み
- 4. YX2026 2026年度通期財務目標**
5. 次期中期経営計画 YX2029

2026年度 財務目標

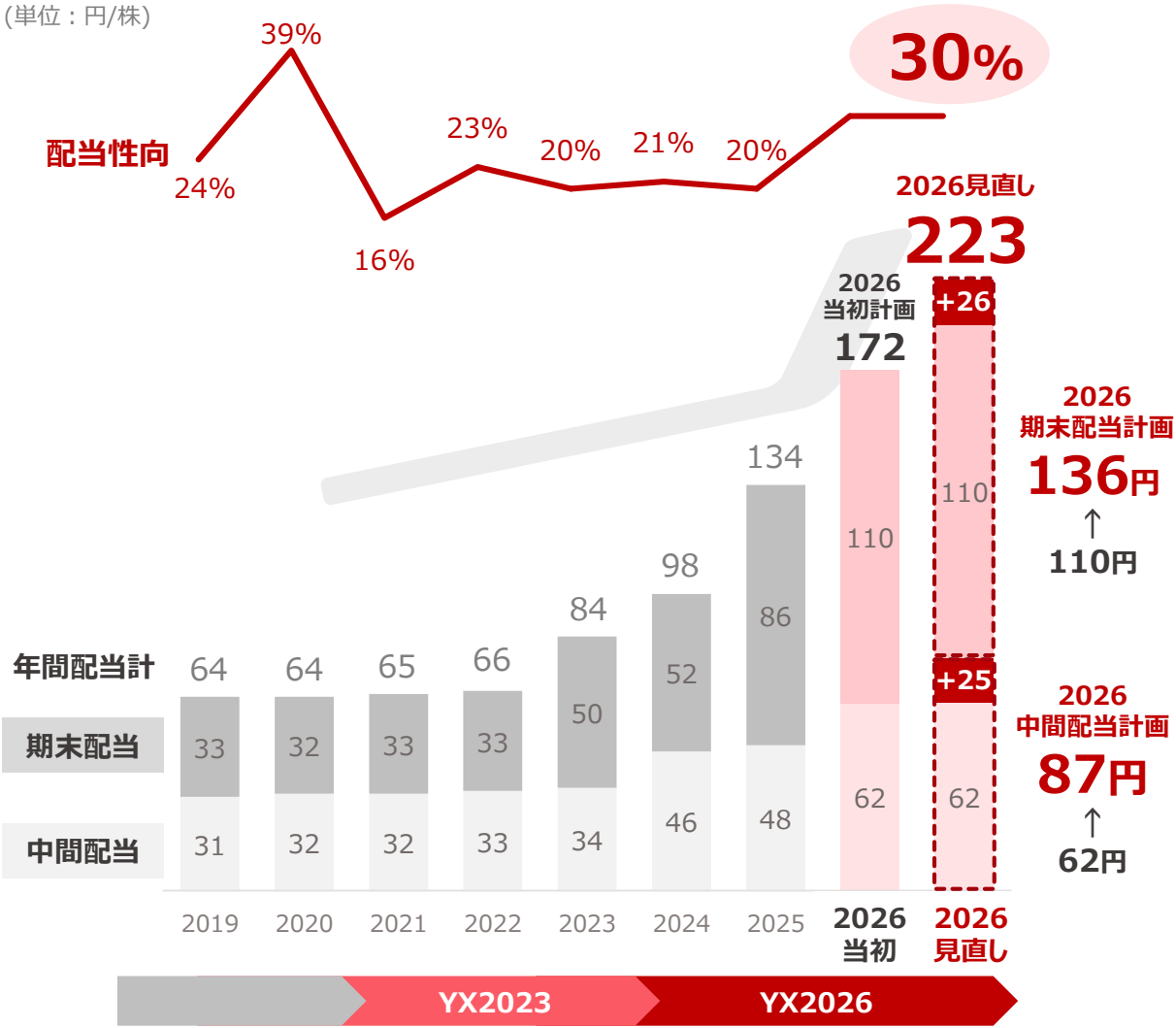
2026年度7月以降 想定		期初(2月)	今回
為替レート	US\$	145円 ➡	156円 (+11円)
	EUR	171円 ➡	178円 (+7円)

	当初目標 2024年2月	変更後(1回目) 2024年8月	変更後(2回目) 2026年2月	変更後(3回目) 今回
売上収益	1兆1,500億円	1兆2,500億円	1兆3,000億円	1兆3,200億円
事業利益	1,300億円	1,500億円	1,880億円	1,925億円
事業利益率	11%	12%	14.5%	14.6%
自己資本比率	50%を目安	50%を目安	50%を目安	50%を目安
ROE	10%超	10%超	10%超	10%超

2026年株主還元の見直し

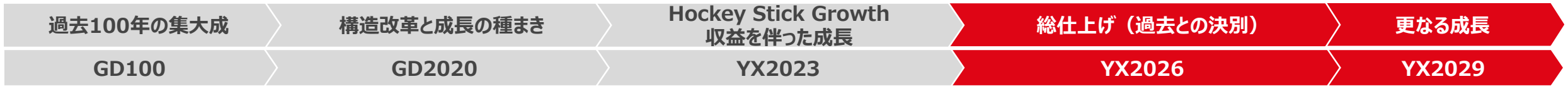
	2025年 実績	2026年 当初計画	2026年 見直し
配当性向	20%	30% (前年+10%)	30% (前年+10%)
EPS (1株当たり純利益)	669円	572円 (前年-96円/-14%)	744円 (前年+76円/+11%)
配当 (1株当たり)	134円	172円 (前年+38円/+28%)	223円 (前年+89円/+66%)
中間配当 (1株当たり)	48円	62円 (前年+14円/+29%)	87円 (前年+39円/+81%)
期末配当 (1株当たり)	86円	110円 (前年+24円/+28%)	136円 (前年+50円/+58%)

配当推移

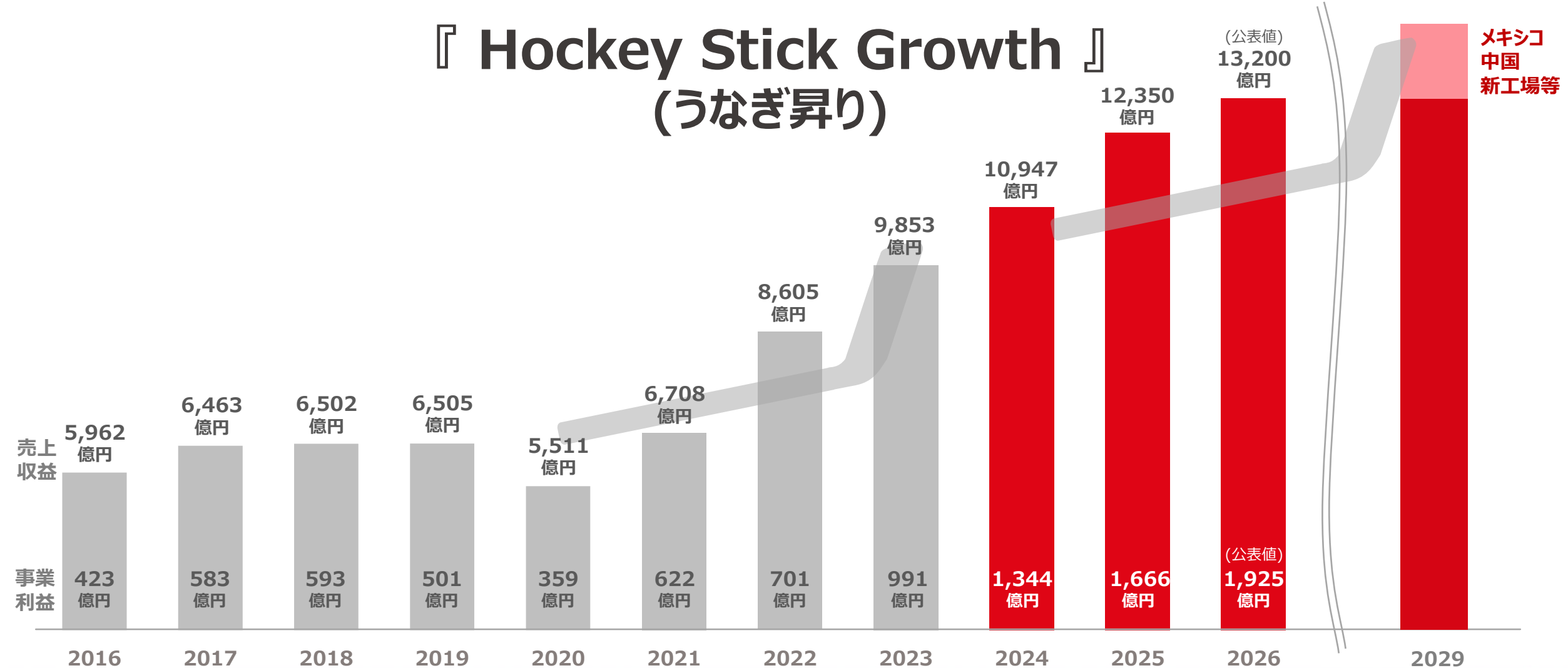


1. 2026年度 上期実績
2. YX2026 2026年度上期の進捗
3. YX2026 2026年度通期の取り組み
4. YX2026 2026年度通期財務数値目標
- 5. 次期中期経営計画 YX2029**

5-1) 次期中期経営計画 YX2029 : Hockey Stick Growth



『 Hockey Stick Growth 』 (うなぎ昇り)

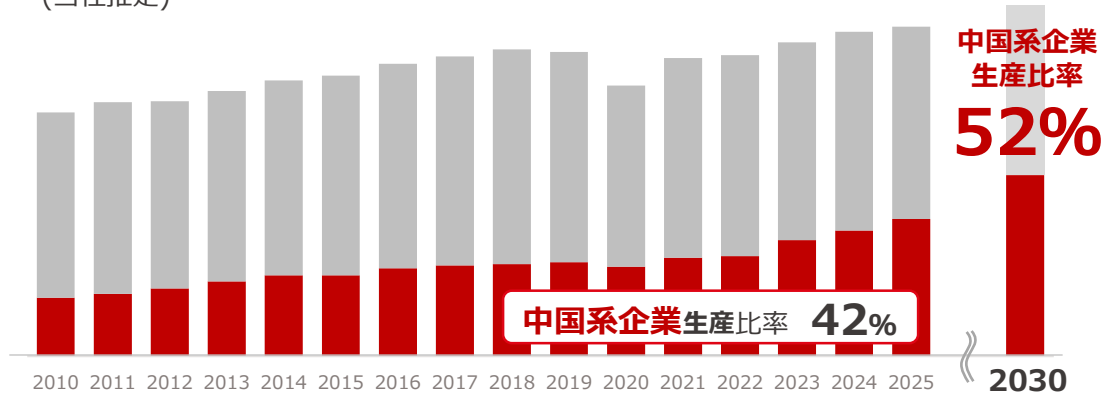


5-2) 次期中期経営計画 YX2029 : 大戦略 (グランドデザイン) タイヤ消費財

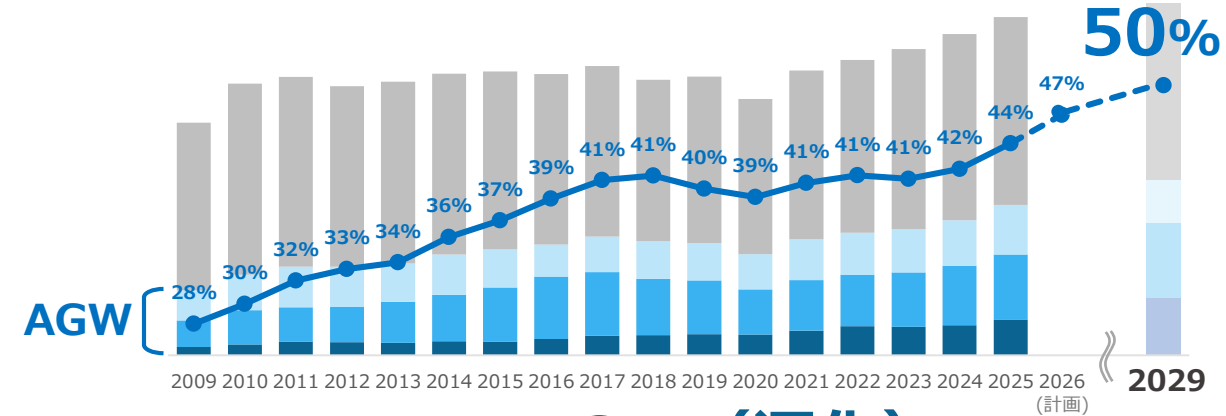


全世界 消費財タイヤ生産本数推移

(当社推定)



横浜ゴム プレミアム(AGW)販売推移



Low-Cost Conversion (探索)

(低コスト生産体制への転換)



インドVizag工場

PCR/OHT
ハイブリッド工場

(2025年 PCR
製造ライン稼働開始済)



中国杭州新工場

中国モデル工場

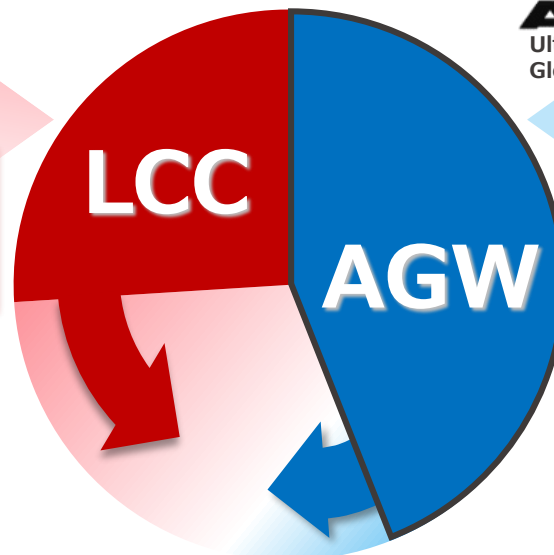
(2026年3月量産開始)



メキシコ新工場

PCR/OHT
ハイブリッド工場

(2027年1月量産開始予定)



ADVAN
Ultra High Performance
Global Flagship Brand

AGW (深化) ※

GEOLANDAR
SUV/Pickup Truck

iceGUARD
Winter

ブランドMIX

インチMIX

販社化・代理店政策

※YOKOHAMAブランド比率99%

※Product Brand

『中国 1 年工場』 中国生産システムモデル

従来キャパ 増産 新工場キャパ
600万本 + 300万本 = 900万本

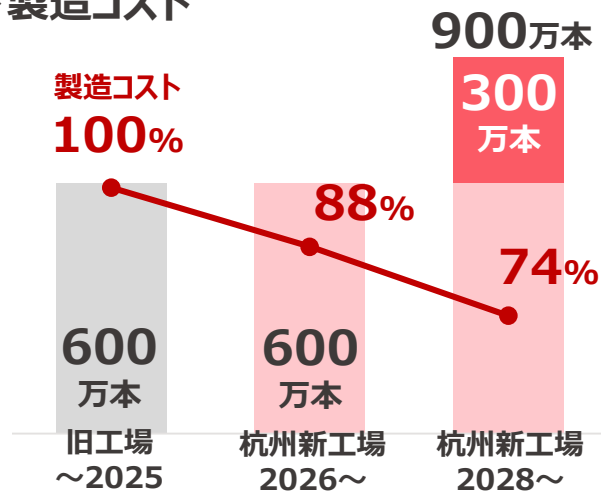
「増産300万本の投資金額でやり切る」

パートナー

補助金

クオリティ: Yokohama / コスト: Chinese

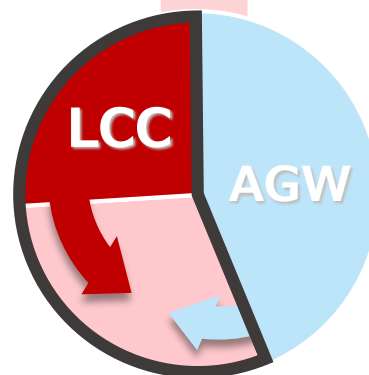
◆製造コスト



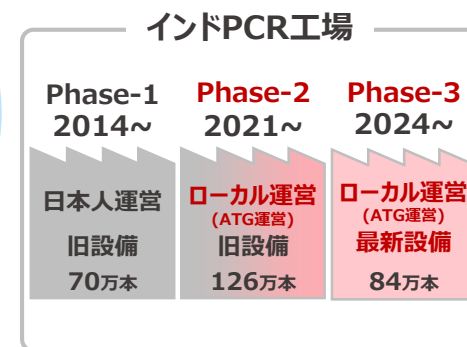
2026年3月
量産開始

600万本時
\$30million
利益増

汎用ヨコハマ・ブランド商品
Low-Cost Conversion

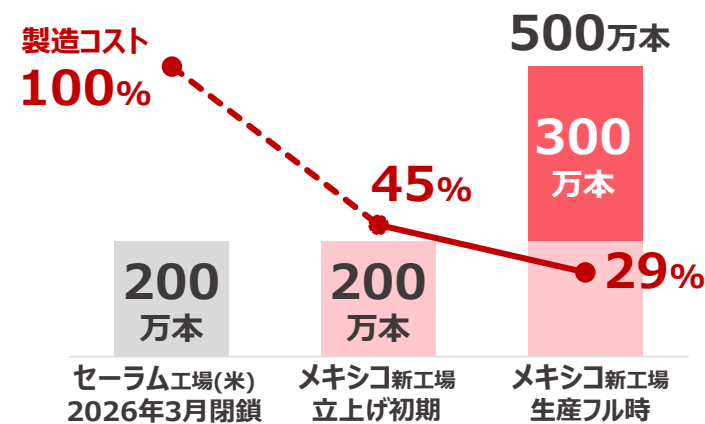


『メキシコ新工場』 PCR※/OHTハイブリッドモデル



OHT生産量は、ゴム量

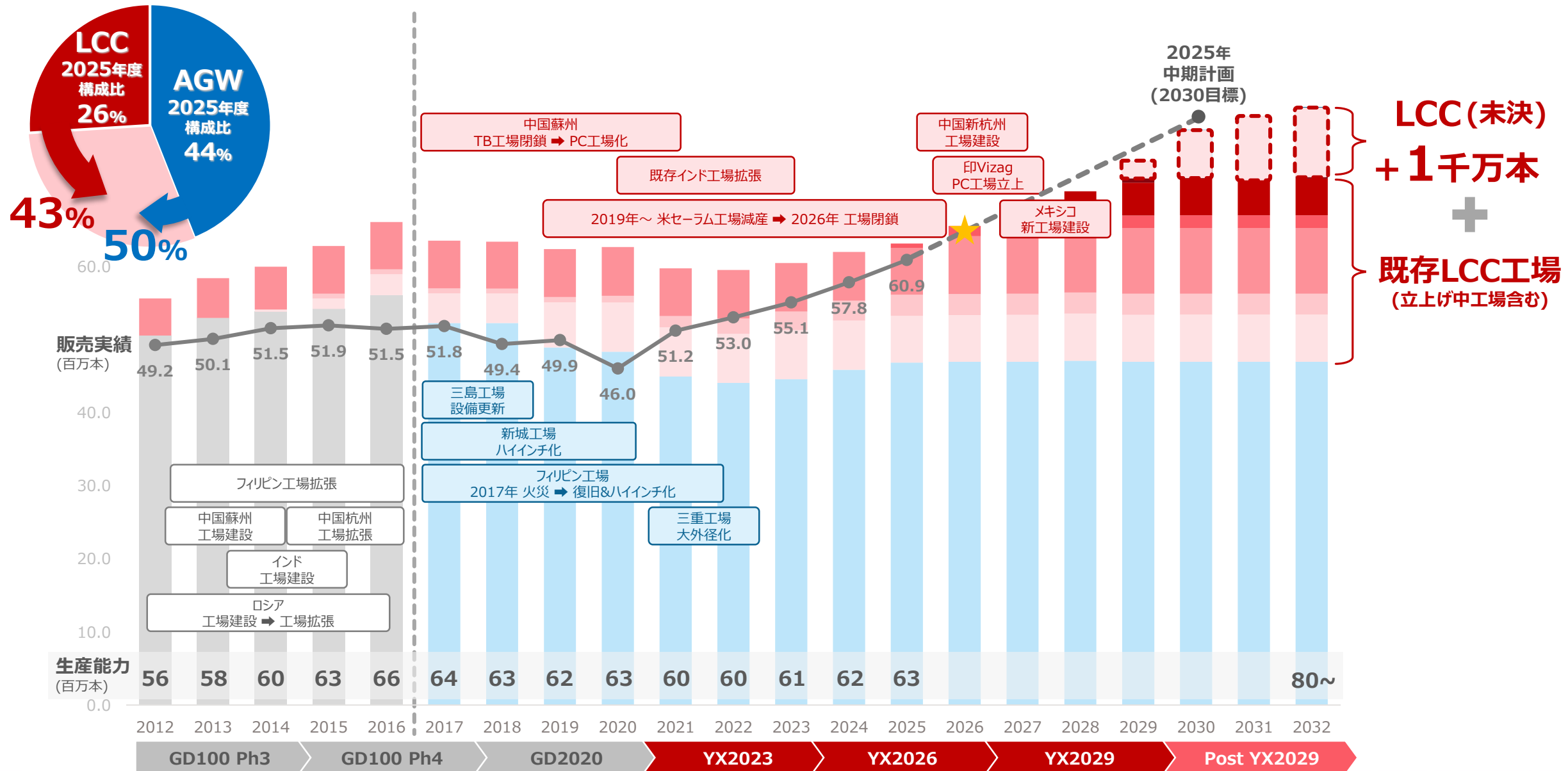
◆製造コスト(メキシコ→米国 物流費含む)



2027年1月
量産開始

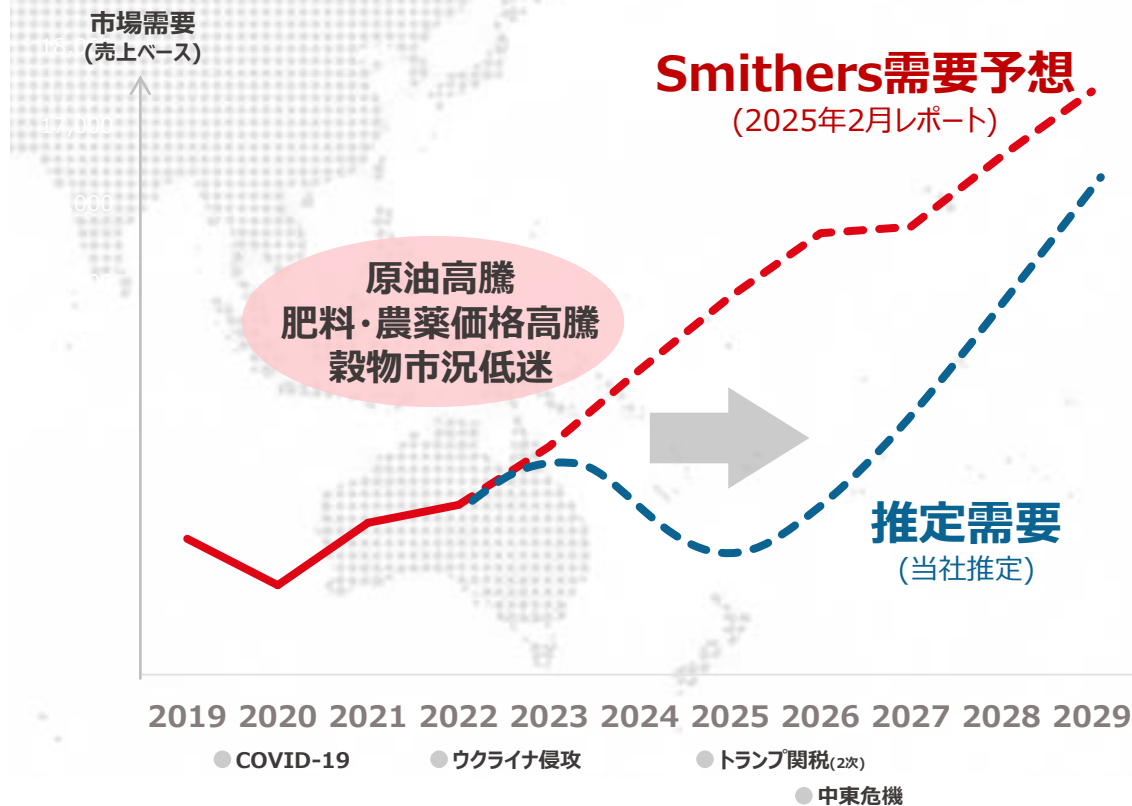
200万本時
\$55million
コスト削減

5-5) 次期中期経営計画 YX2029：タイヤ消費財 生産能力推移

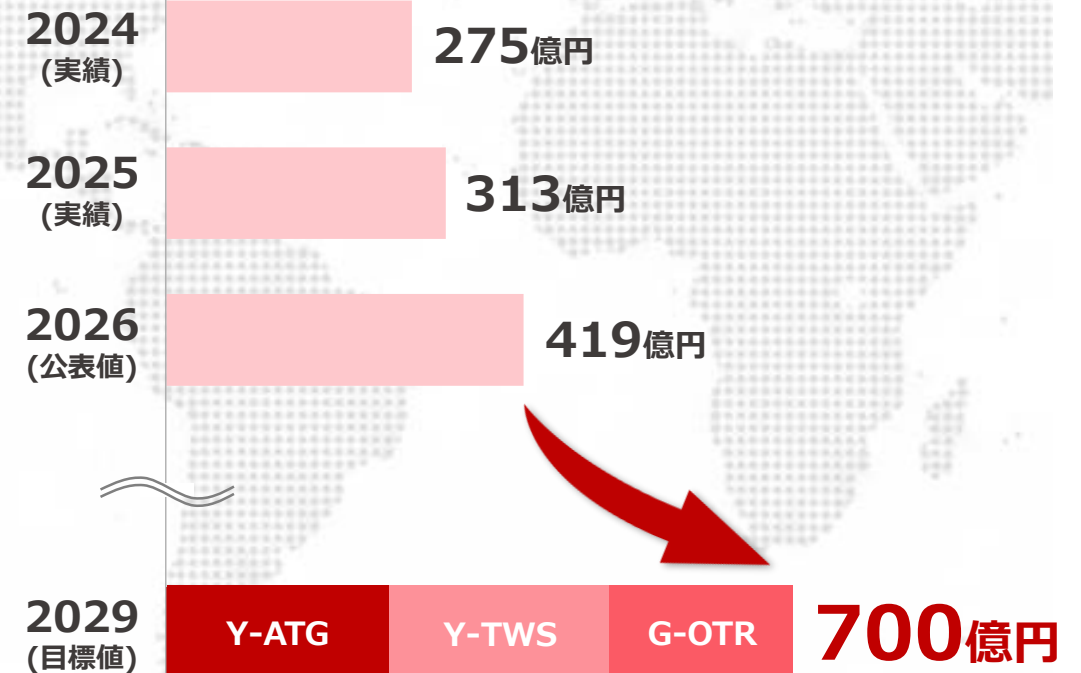




■ 農業機械用タイヤ 需要予測



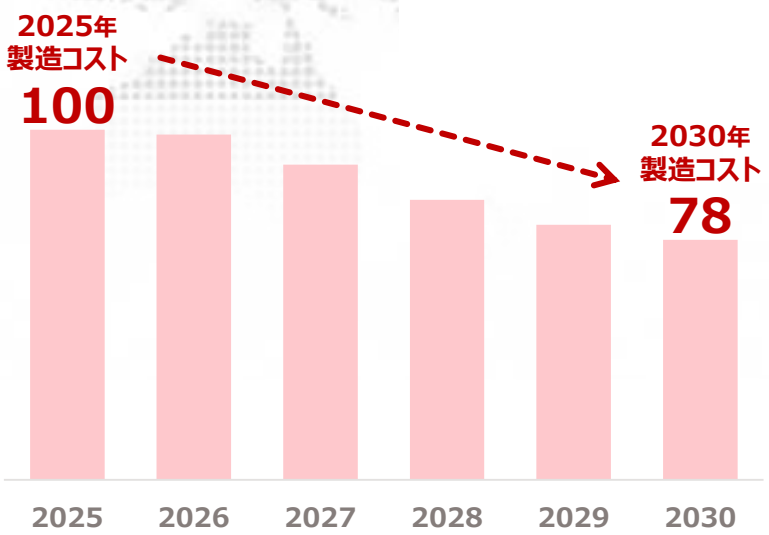
■ OHT事業 事業利益



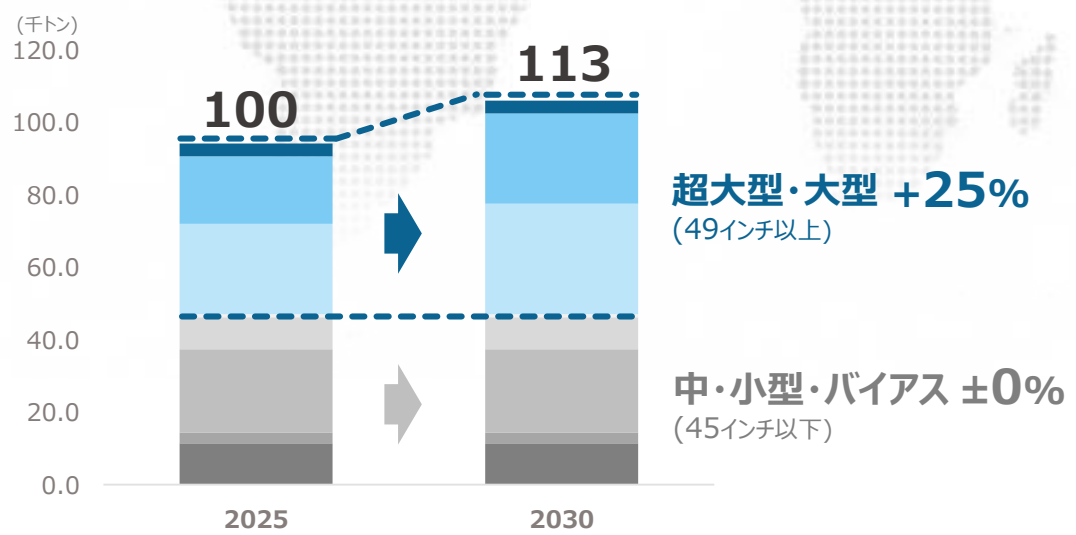
◆生産移管計画 : 2030年 生産移設完了



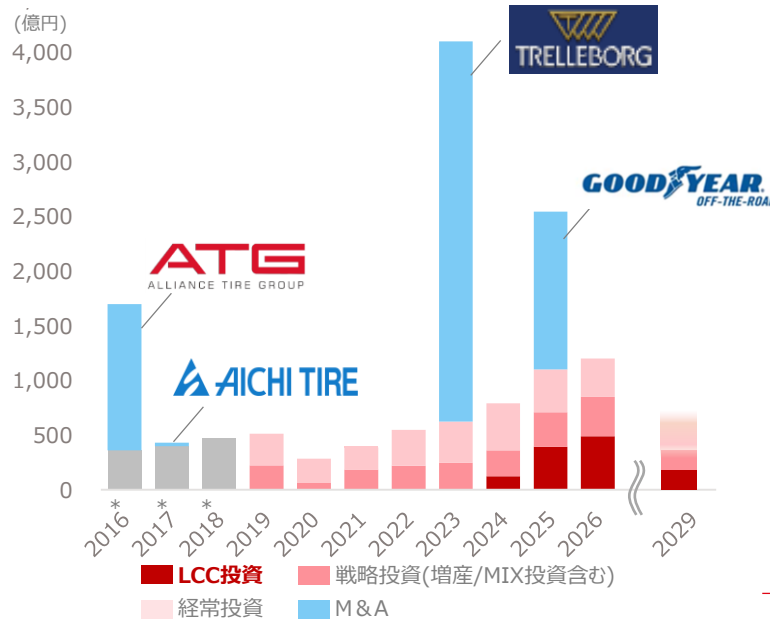
◆OTR 製造コスト推移



◆OTR 増産計画

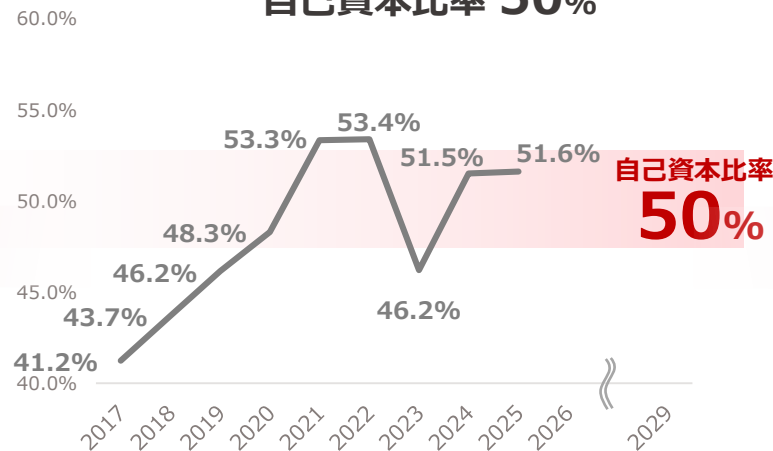


成長投資



財務規律

自己資本比率 50%



株主還元強化

配当性向・総還元性向

